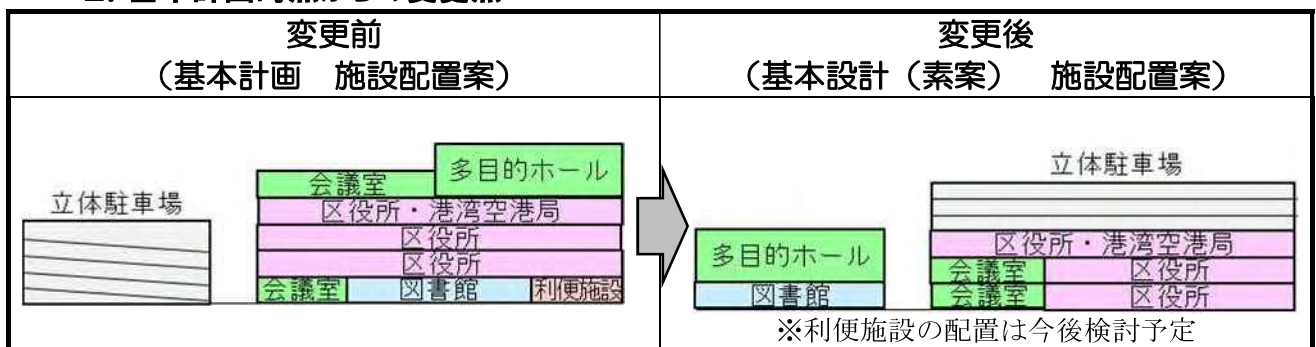


門司港地域複合公共施設 基本設計の進捗について(報告)

1. これまでの経緯

平成 2 8 年 2 月	公共施設マネジメント実行計画の策定
平成 3 0 年度	公共事業評価 事前評価 1
平成 3 1 年 3 月	複合公共施設基本計画の策定
令和 元年 7 月～	基本設計業務に係る簡易プロポーザル
令和 元年 8 月	最優秀者の決定 (石本建築事務所、海渡設計 J V)
令和 元年 1 0 月	基本設計 (素案) に着手

2. 基本計画時点からの変更点



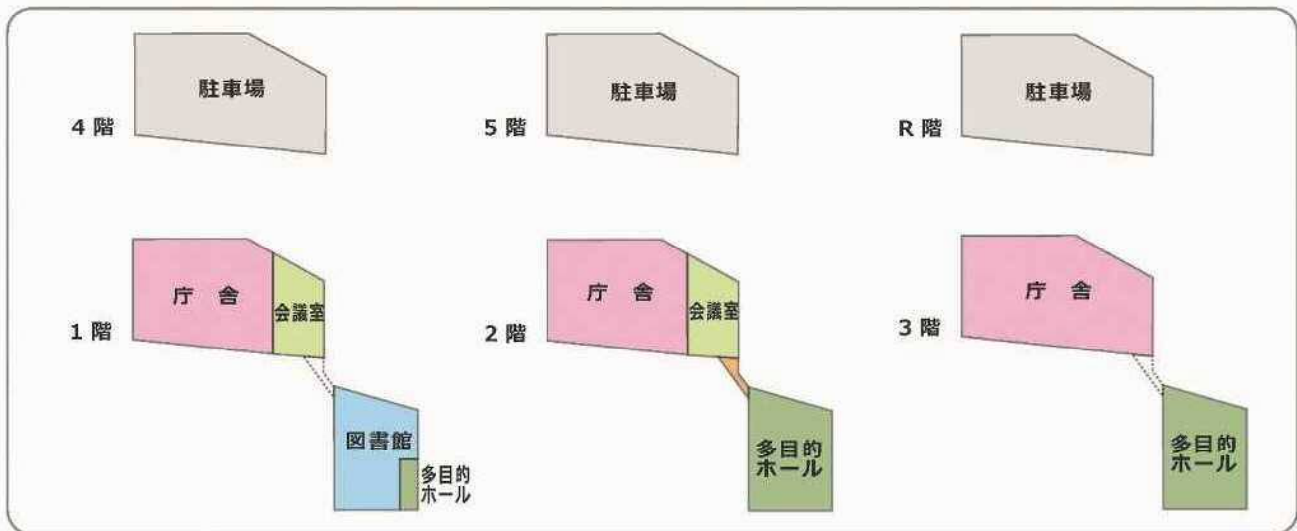
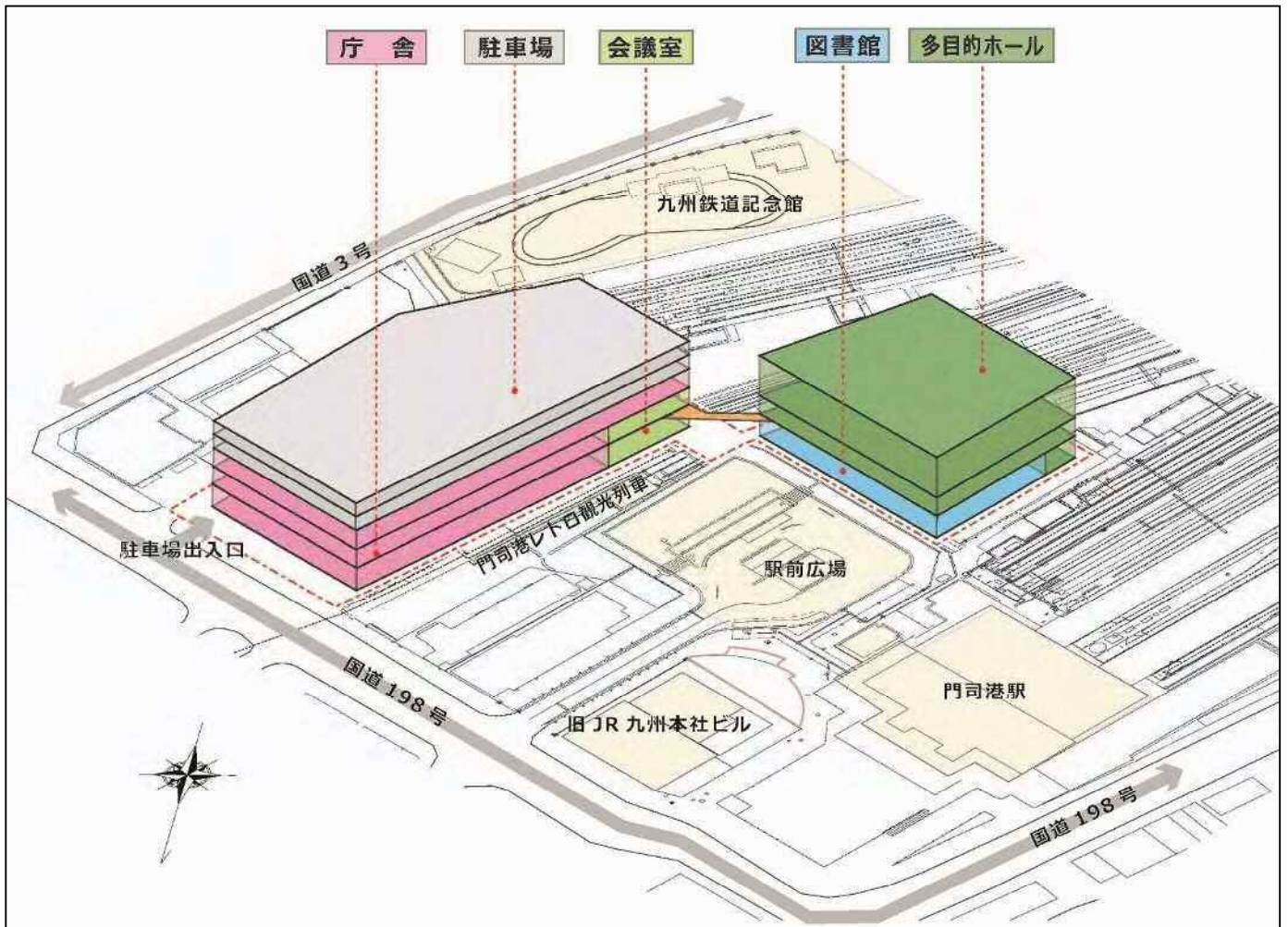
3. 変更点のメリット

- ・ 門司港駅から市民の利用度が高い施設を連続させる案となっているため、利用者の利便性がより向上するとともに、門司港の賑わいづくりへの貢献が期待できる。
- ・ 駐車場への車両動線と公共施設や駅利用者の歩行動線との交差が少ない。
- ・ 立体駐車場と区役所が同じ建物となり、駐車場から区役所へのアクセスが改善された。
- ・ 景観面での課題となっていた立体駐車場を含め全体的に、景観への配慮がなされている。

4. 今後の進め方

令和 2 年 3 月～	門司港地域複合公共施設基本設計市民ワークショップ
令和 2 年 7 月	基本設計の完了
令和 2 年度	公共事業評価 事前評価 2
令和 3 年度～	実施設計、工事
令和 5 年度末	完成

門司港地域複合公共施設 基本設計(素案)



※ 利便施設の配置については今後検討予定

4. 複合公共施設の整備基本方針と整備計画

【基本方針】 門司港レトロの玄関口に誇れる「みんなの施設」

目標1：市民が誇りを持って利用し、育てていく施設づくり
(機能、運営システム、連携のモデル)

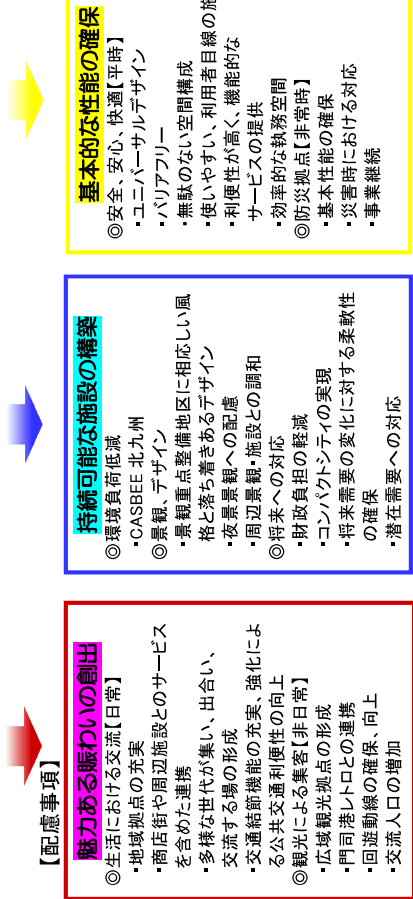
- 施設や機能の複合化が、新たな文化的価値を生み出すきっかけとなり、市民活動の豊かさの向上に寄与していくこと
- 市民利用施設、図書館、行政機能が連携していく可能性を示していくこと

目標2：市民も観光客も立ち寄りたくなる施設づくり
(周辺環境、景観等のモデル)

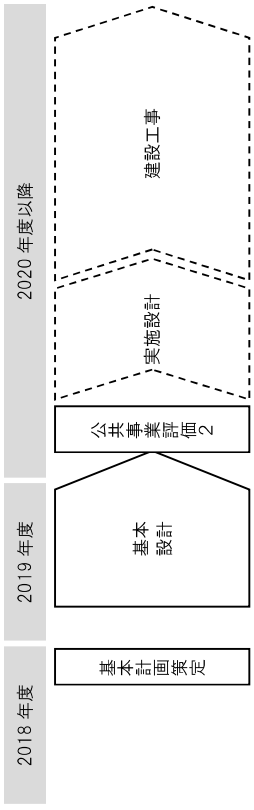
- 市民の日常動線と観光客等の回遊動線が交差する場所に位置する立地特性に照らして、複合公共施設整備の効果周辺に波及させ、新たな流れを誘導していくこと

目標3：これからの公共施設が備えるべき性能・設備を先取りした施設づくり
(建物の性能、ライフサイクル等のモデル)

- 公共施設マネジメントのモデルプロジェクトとして環境、防災、ユニバーサルデザイン、維持管理コストなど複合公共施設が将来にわたって良好なレベルで使い続けることができるよう、先導的な取り組みを行っていくこと



6. スケジュール



5. 各施設の整備基本方針及び整備内容

門司港地域複合公共施設(公共施設)：14,000㎡、利便施設200㎡

市民利用施設(3,600㎡)

多目的ホール(1,700㎡)

- 市民・団体の活動拠点として、地域拠点施設に位置づけ、施設規模に応じて地域の文化行事や個人の演奏会などに使用
- ホールは、舞台設備等を備えた文化ホール仕様
- 座席を可動式の多目的ホールとすることで、会議、文化活動、スポーツ等にも活用

【整備内容】

- 座席数：500席程度
- 可動式座席を採用したアリーナ兼用
- 楽屋は、小会議室(会議室、和室)を兼用
- 災害時等における柔軟な利用、運用への対応

会議室(1,900㎡)

- 特定の目的に縛られず、幅広い多くの市民が活用する施設
- 大会議室と複数の小会議室を設置し、会議室には可動壁を採用する等、多様な活動への対応を図る
- 図書館での様々な活動など、複合化による多様な可能性を活かすことができる施設運営をはかる

【整備内容】

- 大会議室/100~300人規模の講演会用(面積規模：300㎡)
- 小会議室/50~80㎡程度の会議室を7室確保(会議室2室、和室2室、調理室1室、美術工芸室1室、音楽室1室、各室は多目的な利用に対応)
- 災害時における柔軟な利用、運用への対応

図書館(1,600㎡)

- 地区図書館として、区民を中心とした貸出・予約・読書案内・簡易なリファレンスなどのサービスや図書の充実を図る
- 国際交流に関する図書、地域特性に関連する図書、情報の充実を図る
- 静かに本を読む空間と、図書館の利用者が集える空間を確保

【整備内容】

- わかやみサイバーサービスカウンターの設置
- 読み聞かせコーナー、読書室、読書会などに柔軟に対応できるプラン
- 適切な読書能力を持つ書庫の設置、一般図書、テーマ別蔵書、特集コーナーなどを効率的、柔軟に対応できる配架システム
- 静かに読書できるスペースやリファレンスコーナーの設置、通信環境(WiFi等)の完備

庁舎(8,800㎡(区役所 6,800㎡、港湾庁舎 2,000㎡))

- 災害時の推進や地域コミュニティ活動への支援、保健福祉や子育てに関する相談、防災庁舎の利便性など、住民に身近で多様な役割を果たす
- 港湾空港行政の役割を果たす
- 会議室を相互利用するなど、複合化のメリットを活かした運営を図る

【整備内容】

- わかりやすい窓口案内を可能とするエントランス、待合スペースの確保
- 区役所手続窓口のワンストップサービスの実施
- 市民ニーズや区役所業務の変化に対応できる、柔軟性のある空間計画
- 防災拠点としての強度・性能の確保
- 庁舎内における積極的な機能の兼用化

利便施設(200㎡)

- 施設利用者の利便性を向上、また、公共交通利用者や観光客などが気軽に立ち寄れる施設

付属駐車場(約340台)

- 施設利用者や公用車のほか、観光客など地域の駐車需要や交通課題にも対応できる立体駐車場として整備
- 駅前広場に隣接した敷地に独立した立体駐車場として配置
- 門司港駅に隣接した位置にあるなどの立地状況を踏まえ、景観・デザインを重要な要素として検討

【整備内容】

- 駅前広場歩道横断の安全性確保に留意
- 景観・デザインへの配慮
- 庁舎までの動線に座席を設置するなど良好なアクセス確保への配慮